

平成22年度  
市民活動状況調査結果報告書



下関市 市民部 市民文化課

〒750-8521 山口県下関市南部町1-1

直 通 083-231-1830

FAX 083-231-1809

E-mail [skshimin@city.shimonoseki.yamaguchi.jp](mailto:skshimin@city.shimonoseki.yamaguchi.jp)

URL <http://www2.city.shimonoseki.yamaguchi.jp/>



# 目 次

|                     |    |
|---------------------|----|
| I. 調査の概要            | 1  |
| 1. 調査の目的            |    |
| 2. 実施時期             |    |
| 3. 調査方法             |    |
| 4. 調査の種類および概要       |    |
| 5. 集計について           |    |
| II. 市民意識調査結果        | 2  |
| 1. 回収者特性            | 2  |
| (1) 男女比             |    |
| (2) 年代              |    |
| (3) 職業              |    |
| 2. 市民活動経験および今後の意向   | 5  |
| 3. 活動分野             | 6  |
| 4. 活動上の問題点          | 7  |
| 5. 活動してこなかった理由      | 8  |
| III. 団体調査結果         | 9  |
| 1. 活動場所等            | 9  |
| (1) 活動場所            |    |
| (2) 活動場所についての意見     |    |
| 2. 活動資金や経済状態        | 11 |
| (1) 活動資金            |    |
| (2) 収入割合            |    |
| (3) 経済的負担           |    |
| 3. 情報の入手と提供         | 13 |
| (1) 情報入手・提供方法       |    |
| (2) 情報入手満足度         |    |
| (3) 情報提供満足度         |    |
| (4) 情報入手・提供についての意見  |    |
| 4. 他団体や地域との連携       | 15 |
| (1) 他団体との連携         |    |
| (2) 地元地域との連携        |    |
| 5. 活動における課題等        | 17 |
| (1) 団体活動の課題         |    |
| (2) 問題解消についての意見     |    |
| 6. 市民活動団体と市の関係      | 19 |
| (1) 団体と市との望ましい関係    |    |
| (2) 市が実施すべき団体に対する施策 |    |
| 7. 課題・要望等           | 21 |
| (1) 団体が困っていること      |    |
| (2) 市に期待することや提案     |    |
| (3) その他             |    |



# I. 調査の概要

## 1. 調査の目的

市民活動の現状と課題の把握

## 2. 実施時期 平成22年4月

## 3. 調査方法 郵送アンケート方式

(アンケート調査表を調査対象に郵送し、回答期限までに郵送にて返送。)

## 4. 調査の種類および概要

### (1) 市民意識調査

○目的・・・個人レベルの市民活動の現状と課題の把握

○対象者数・・・500名(無作為抽出による)

○回収数・・・148名(回収率29.6%)

(内訳 有効145 無効3 有効回収率29.0%)

### (2) 市民活動団体調査

○目的・・・団体レベルの市民活動の現状と課題の把握

○対象団体・・・市内の市民活動団体(308団体)

・しものせき市民活動センターに団体紹介シートを提出した団体

・山口県NPO法人データベース登録団体の中で下関市に連絡先のある団体

○回収数・・・132団体(回収率42.9%)

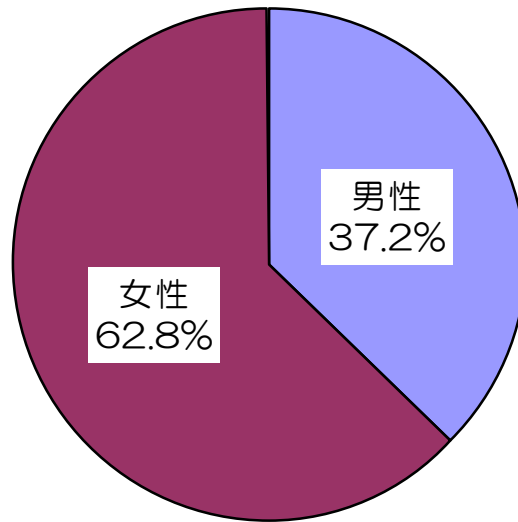
## 5. 集計について

“％”の算出にあたっては、端数処理として四捨五入を用いています。そのため、算出結果を単純合計した場合に100%とならない場合があります。

## Ⅱ. 市民意識調査結果

### 1. 回収者特性

#### (1) 男女比

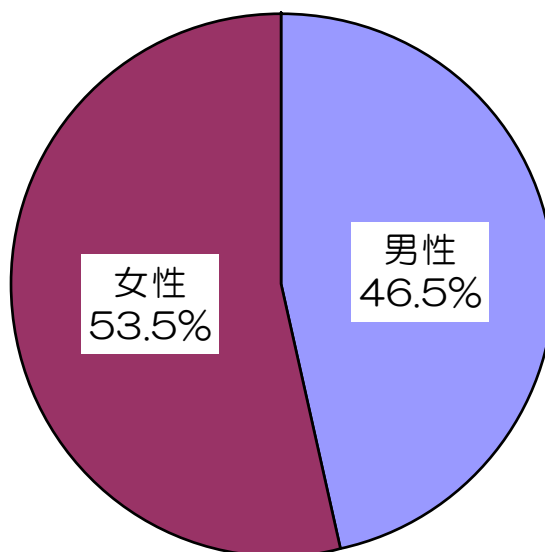


男性 54 女性 91 無記 3



平成22年4月末現在の市全体の人口は男性 133,206 人、女性 153,176 人となっており、男女比は男性46.5%・女性53.5%となっています。(参考 市HP 統計データ)

本調査の回収結果は、男性37.2%、女性62.8%となっています。



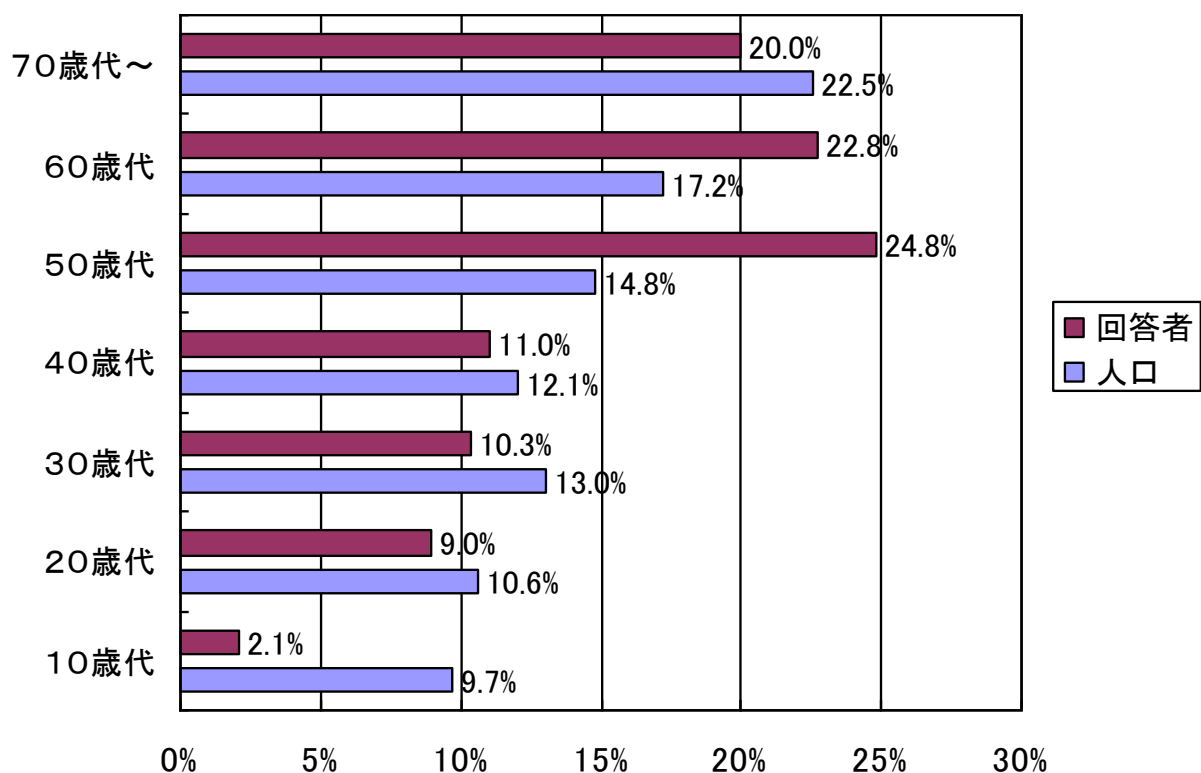
(参考 下関市の男女比)

## (2) 年代

10歳代、20歳代の回収率が10%未満と低い一方で、50歳代以上の回収率が20%以上と高くなっています。

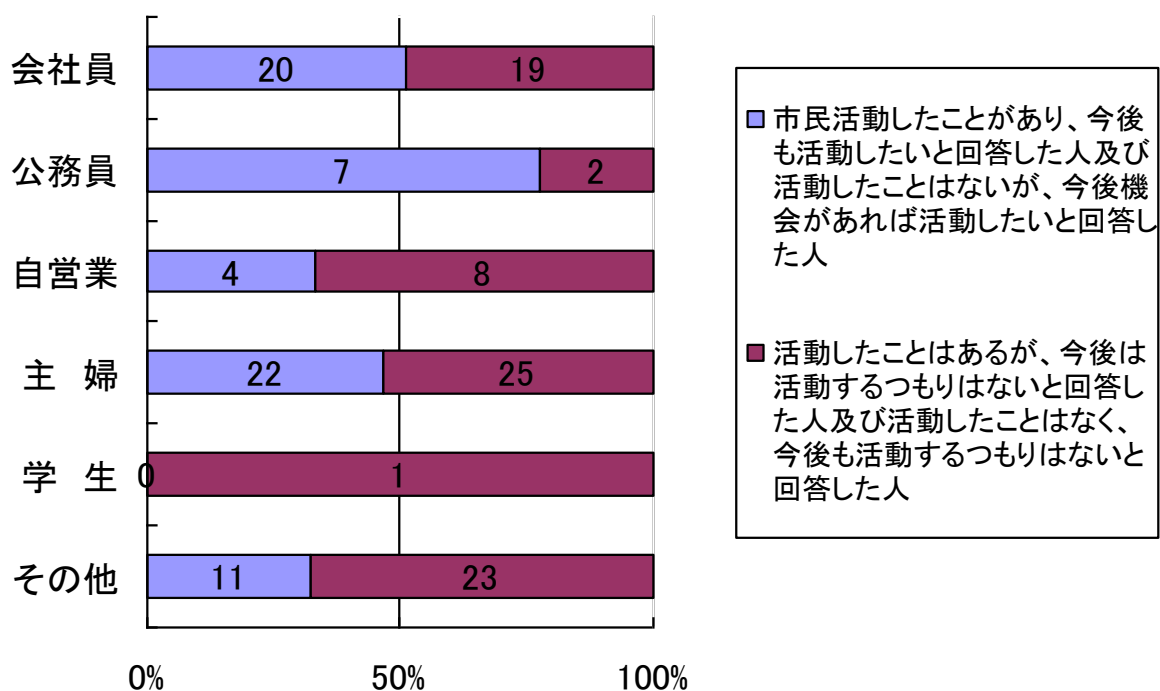
| 年 代   | 回答者数 | 回 答 者<br>割 合 | 下 関 市<br>人 口 数 | 下 関 市<br>人口割合 |
|-------|------|--------------|----------------|---------------|
| 70歳代～ | 29   | 20.0%        | 59,572         | 22.5%         |
| 60歳代  | 33   | 22.8%        | 45,435         | 17.2%         |
| 50歳代  | 36   | 24.8%        | 39,147         | 14.8%         |
| 40歳代  | 16   | 11.0%        | 31,879         | 12.1%         |
| 30歳代  | 15   | 10.3%        | 34,403         | 13.0%         |
| 20歳代  | 13   | 9.0%         | 28,143         | 10.6%         |
| 10歳代  | 3    | 2.1%         | 25,731         | 9.7%          |

## 調査回答者と市民全体の年齢分布比較



### (3) 職業

| 分 類                                                           |    | 会社員   | 公務員   | 自営業   | 主 婦   | 学 生  | その他   | 無回答  | 計    |
|---------------------------------------------------------------|----|-------|-------|-------|-------|------|-------|------|------|
| 市民活動したことがあり、今後も活動したいと回答した人及び活動したことはないが、今後機会があれば活動したいと回答した人    | 人数 | 20    | 7     | 4     | 22    | 0    | 11    | 2    | 66   |
|                                                               | %  | 30.3% | 10.6% | 6.1%  | 33.3% | 0.0% | 16.7% | 3.0% | 100% |
| 活動したことはあるが、今後は活動するつもりはないと回答した人及び活動したことはなく、今後も活動するつもりはないと回答した人 | 人数 | 19    | 2     | 8     | 25    | 1    | 23    | 1    | 79   |
|                                                               | %  | 24.1% | 2.5%  | 10.1% | 31.6% | 1.3% | 29.1% | 1.3% | 100% |
| 計                                                             | 人数 | 39    | 9     | 12    | 47    | 1    | 34    | 3    | 145  |
|                                                               | %  | 26.9% | 6.2%  | 8.3%  | 32.4% | 0.7% | 23.4% | 2.1% | 100% |



## 2. 市民活動経験および今後の意向

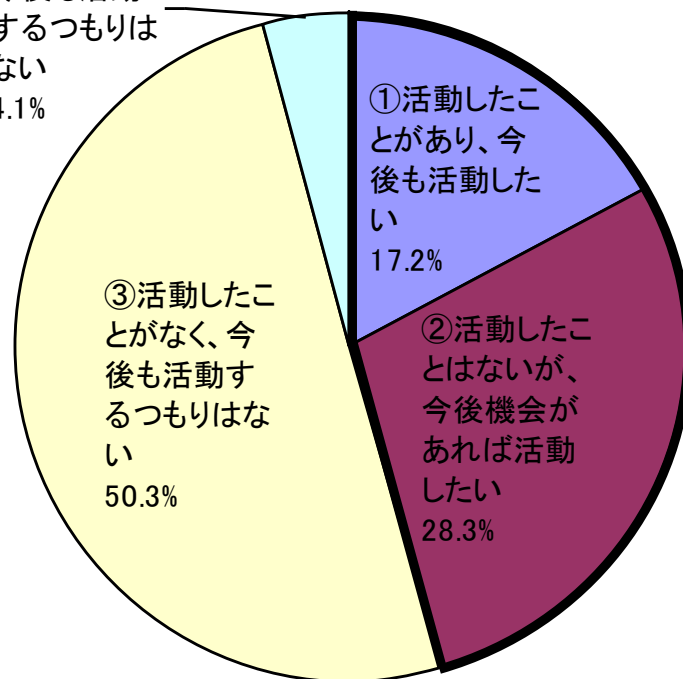
(市民活動についておたずねします)

Q1 あなたは「市民活動」を行ったことがありますか。また、今後、活動したいと思いますか。(一つだけ)

- |                            |            |
|----------------------------|------------|
| 1 活動したことがあります、今後も活動したい     | 25 (17.2%) |
| 2 活動したことはないが、今後機会があれば活動したい | 41 (28.3%) |
| 3 活動したことはあるが、今後は活動するつもりはない | 6 (4.1%)   |
| 4 活動したことはなく、今後も活動するつもりはない  | 73 (50.3%) |

④活動したことはあるが、  
今後も活動するつもりはない  
4.1%

活動したい人 ①+②  
45.5%



最も市民活動に積極的な「活動したことがあります、今後も活動したい」と回答した人は、17.2%となっています。また、今後の意向を見ると、活動したい人が45.5%と半数近くの市民が活動に参加したいという積極的な意向を示しています。

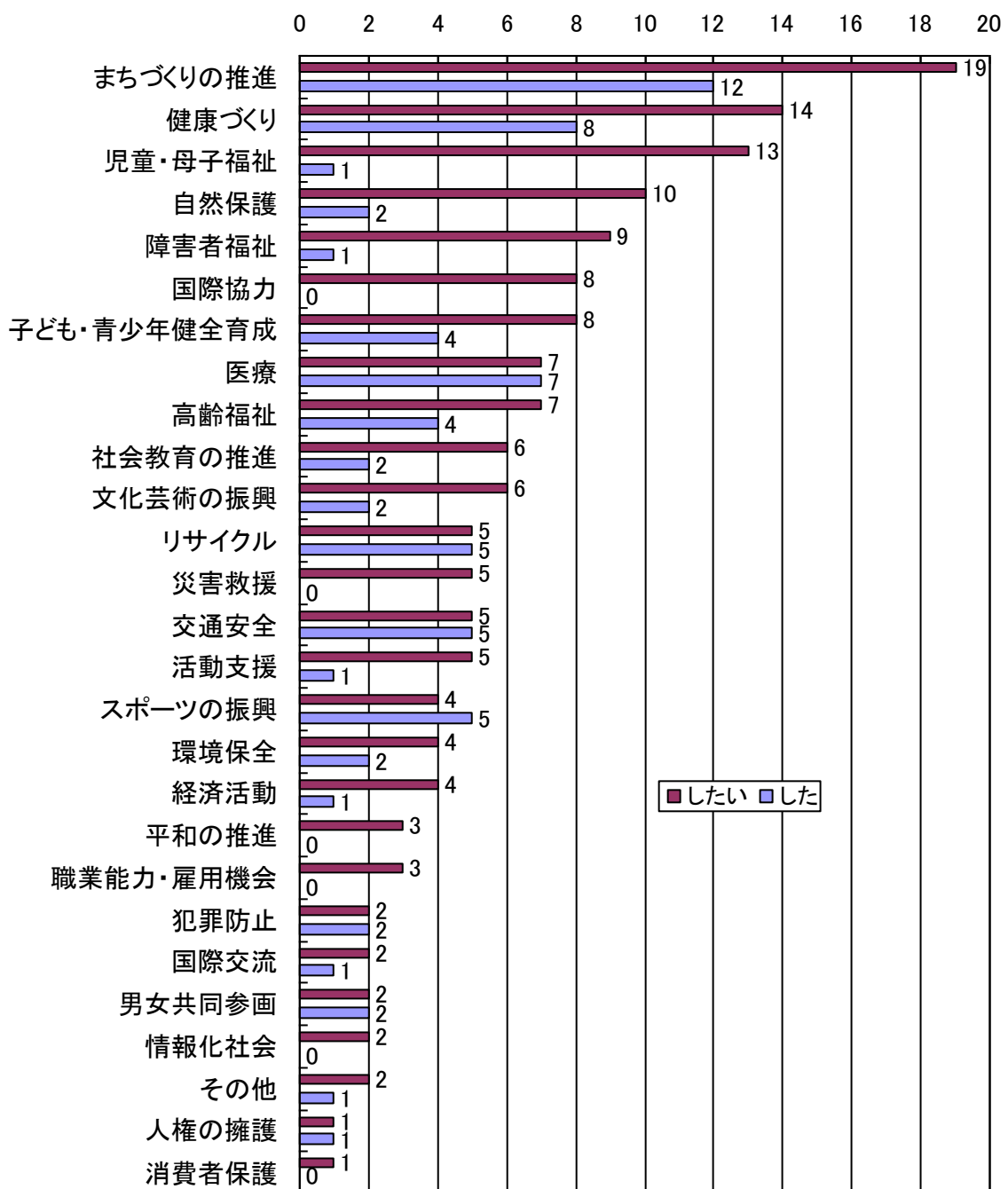
### 3. 活動分野

【Q2で「1. 今後も活動したい」「2. 今後機会があれば活動したい」と回答した方へ】

Q2 あなたは、どのような分野の活動を行っていますか、また、行ってみたいですか。活動を行ったことがあるものを「活動した」欄に、活動を行ってみたいものを「活動したい」欄にお書きください。（いくつでも）

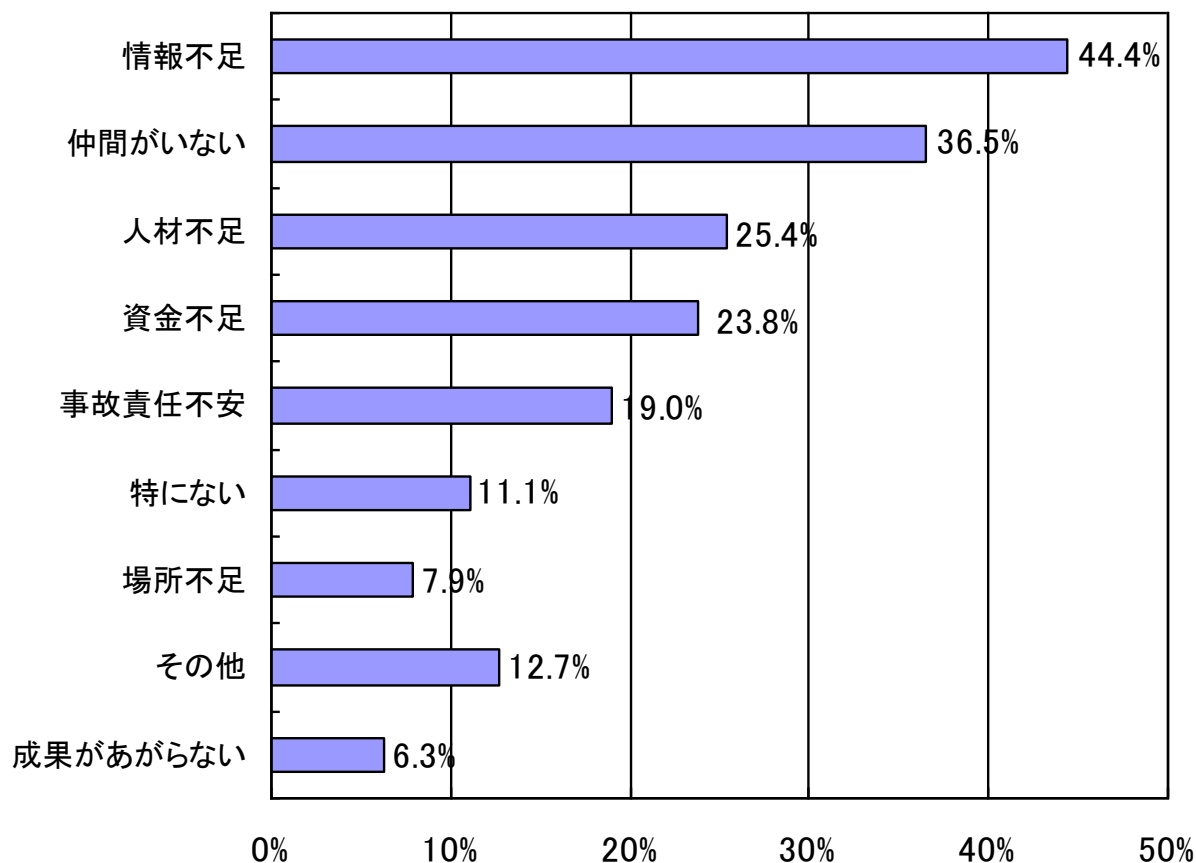
「活動したい」（回答合計数 157）と回答のあった主なものは、まちづくりの推進（19）と健康づくり（14）、児童・母子福祉（13）の順となっています。

「活動した」（回答合計数 69）と回答のあった主なものは、まちづくりの推進（12）、健康づくり（8）、児童・母子福祉（8）の順となっています。



#### 4. 活動上の問題点

【Q2で「1. 今後も活動したい」「2. 今後機会があれば活動したい」と回答した方へ】Q3 活動を行う上での問題点は何ですか。（いくつでも）



※回答者数÷有効回答数（63）で算出



「情報不足」と回答した人が44.4%となっており、依然として市民活動に興味があっても、情報の入手が困難な状況がうかがえます。

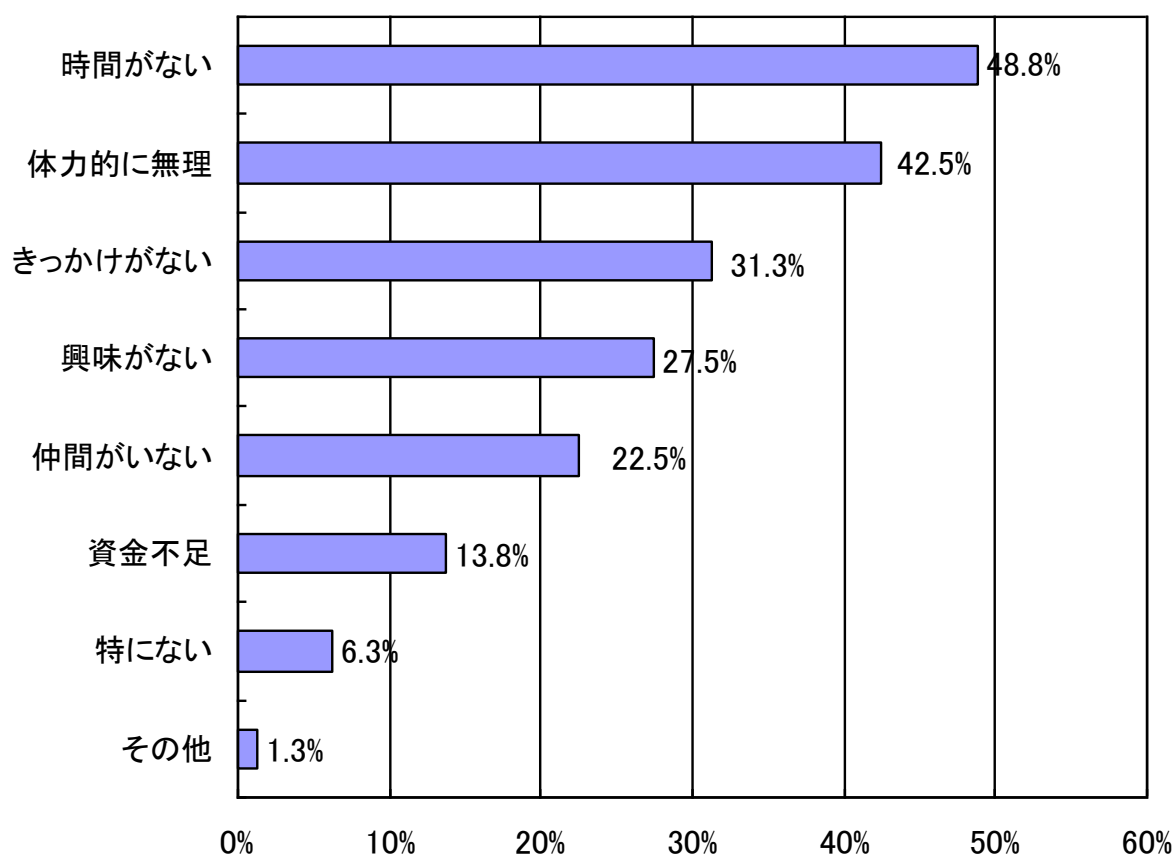
「人」に関する「仲間がいない」と回答した人が36.5%、「人材不足」と回答した人が25.4%となっています。

また、「資金不足」と回答した人は23.8%、「事故責任不安」19.0%となっています。

## 5. 活動してこなかった理由

【Q2で「3. 今後は活動するつもりはない」「4. 今後も活動するつもりはない」と回答した方へ】

Q4 その理由は何ですか。(いくつでも)



※回答者数÷有効回収数（80）で算出



活動したくない理由として、「時間がない」との回答が多く、48.8%と高い数値を示しています。年齢・職業分布によると、20代～30代の会社員の比率が大きく、若い世代層において、仕事と子育て等家庭環境による時間不足に由来する市民活動への不参加傾向が推測されます。

「体力的に無理」とした回答においても、42.5%と多くの回答があり、年齢分布によると高齢者層が多く回答し、加齢とともに活動が困難になっている状況がうかがえます。

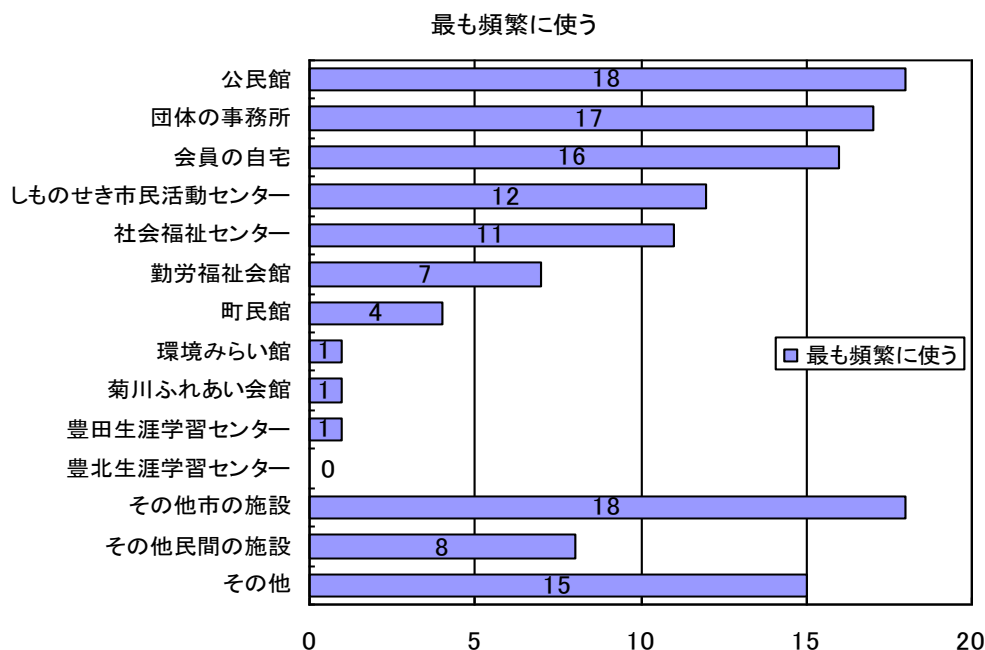
## Ⅲ. 団体調査結果

### 1. 活動場所等

#### (1) 活動場所

Q1 あなたの団体の活動場所等についておたずねします。

(1) あなたの団体で使う活動場所すべてに○をし、その中で最も頻繁に使う活動場所に◎をしてください。



活動場所については、公民館、団体の事務所、会員の自宅、しものせき市民活動センター等が主な活動場所であり、特に公民館を中心として地域に根付いた活動が多いことがうかがえます。

なお、公共施設（    表示）における割合は、最も頻繁に使う場所で53.5%、使う場所で64.3%と共に大きく占めています。

また、市民活動の多様化と比例して活動場所に対して個別の希望、要望が増えてきています。

| 活動場所          | 回答数◎  | 回答数○  |
|---------------|-------|-------|
| 公民館           | 18    | 23    |
| 団体の事務所        | 17    | 4     |
| 会員の自宅         | 16    | 17    |
| しものせき市民活動センター | 12    | 23    |
| 社会福祉センター      | 11    | 7     |
| 勤労福祉会館        | 7     | 6     |
| 町民館           | 4     | 9     |
| 環境みらい館        | 1     | 11    |
| 菊川ふれあい会館      | 1     | 4     |
| 豊田生涯学習センター    | 1     | 2     |
| 豊北生涯学習センター    | 0     | 2     |
| その他市の施設       | 18    | 14    |
| その他民間の施設      | 8     | 6     |
| その他           | 15    | 15    |
| 総計 (A)        | 129   | 143   |
| 公共施設 計 (B)    | 69    | 92    |
| 公共施設使用率 (B/A) | 53.5% | 64.3% |

## (2) 活動場所についての意見

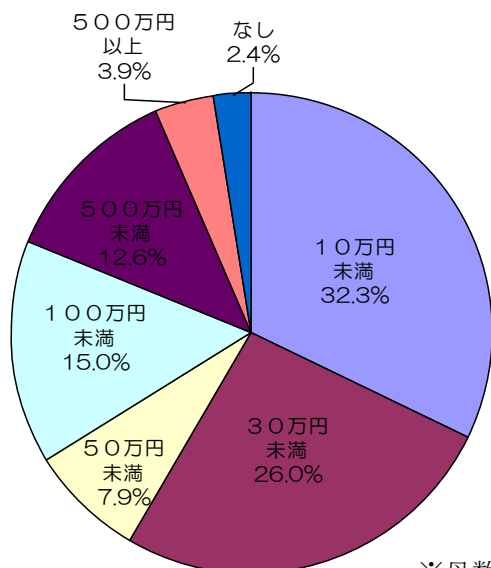
(2) 活動場所についてご意見等ありましたら、ご自由にお書きください。

|    |                                                                                                     |
|----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | ボランティア活動を行う場合、公共施設の使用料は減免して欲しい。                                                                     |
| 2  | 福祉団体として公民館の無料使用は本当に感謝。                                                                              |
| 3  | 事務所が無い為、代表宅を利用することが多い。                                                                              |
| 4  | 活動場所が少ないため、無償で提供していただく場所があれば教えて下さい。(山林を含みます)                                                        |
| 5  | 市民センター会場使用料、市民活動センターと同じく割引をお願い致したい。                                                                 |
| 6  | 駐車場が有料であると大きな負担となります。ボランティア団体には、割引制度を設けて欲しい。                                                        |
| 7  | 駐車場が無料で、広いところを使います。減免して頂いたところに集中しています。                                                              |
| 8  | 公民館を使用する時は、各公民館のほとんどが申込み時点(使用の3ヶ月前に申込み)で使用できない状況です。定期使用の団体があるにしても申込は対等であってほしい。                      |
| 9  | 公民館は、祝日の月曜日は、使用できなかったり、土、日、祝に会議をしたくても、他団体とぶつかり借りることができない場合が少なくない。                                   |
| 10 | 公民館によって駐車場のスペースに違いがあります。                                                                            |
| 11 | 会員以外の自由参加者を他に募りたいのですが、市報や新聞等に募集の告知を出そうとすると、公民館という市民に一番身近な施設では断られてしまいます。                             |
| 12 | NPOは活動費の中の1/4を利益事業(活動)をして団体を維持することが出来ることになっているが、公民館の使用基準とNPOとの基準が合致していないのではないかと考えています。              |
| 13 | しものせき市民活動センターは駐車場がないので主催者としていつも申し訳なく思っている。                                                          |
| 14 | 「しものせき市民活動センター」の印刷機はカラーコピー機も導入して欲しい。                                                                |
| 15 | 地域づくり活動にとって、身近なお寺の利用は有難く、活動の拠点としてなくてはならない場所になっている。しものせき市民活動センターは、豊田町の人にとっては、不便。交流会の場所として活動させて頂いている。 |
| 16 | 安価で安定的に予約ができる施設を探しているが、なかなか見つからなくて、困っている。                                                           |
| 17 | 社会福祉の事業所です。市の空き地・空き部屋等がありましたら借りて使用したいと思います。借料を支払って事業活動をしています。大変ですね。                                 |
| 18 | 小中学校の空教室を市民活動団体へ、事務所として活用させてほしい。                                                                    |
| 19 | 希望として、各保健センターの会議室の利用が出来ると良いです。                                                                      |
| 20 | 駐車場のスペースと近くにコンビニストアがあれば便利です。                                                                        |
| 21 | 道具(機織機)等、常時設置する活動の場合、場所の確保が困難です。                                                                    |
| 22 | 東部地区には、図書室、児童館などの施設がありません。図書館も遠く不便です。清末公民館の方々とは、日頃の活動もあり、協力的で、とても感謝しています。                           |
| 23 | 他団体の事務局を借りています。事務機器を借りて事務を行っていますが、NPO法人になって事務が繁雑になり、購入しなくてはなりませんので、経費の面で苦慮しています。                    |
| 24 | 通常、屋外での活動の為、施設を使用するのは年に1回～2回である。                                                                    |
| 25 | 今使用させていただいている公共施設を継続して使用出来ることを希望します。                                                                |
| 26 | 市の施設は、部屋の大小なども選ぶことができ、大変ありがたく使わせて頂いております。                                                           |
| 27 | 気持ちよく使わせていただいています。ロッカーもお借りすることが出来助かっています。利用グループが多く重なっている時は、駐車が大変なこともあります。                           |

## 2. 活動資金や経済状況

### (1) 活動資金

Q2 あなたの団体の活動資金や経済状態についておたずねします。  
(1) あなたの団体の平成21年(または平成21年度)の活動資金はどのくらいですか。(一つだけに○をしてください)。

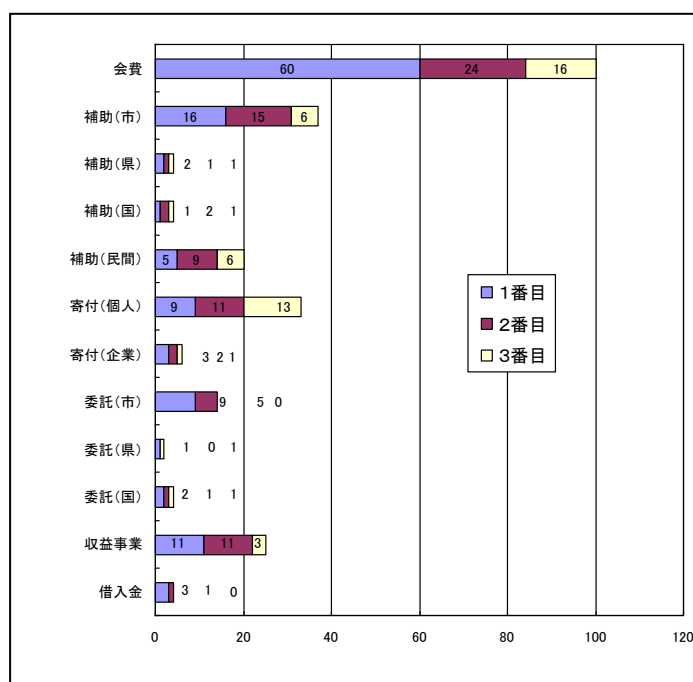


| 項目      | 回答数 | %    |
|---------|-----|------|
| 10万円未満  | 41  | 32.3 |
| 30万円未満  | 33  | 26.0 |
| 50万円未満  | 10  | 7.9  |
| 100万円未満 | 19  | 15.0 |
| 500万円未満 | 16  | 12.6 |
| 500万円以上 | 5   | 3.9  |
| なし      | 3   | 2.4  |

※母数127 {132(総回答数) - 5(無回答数)}

### (2) 収入割合

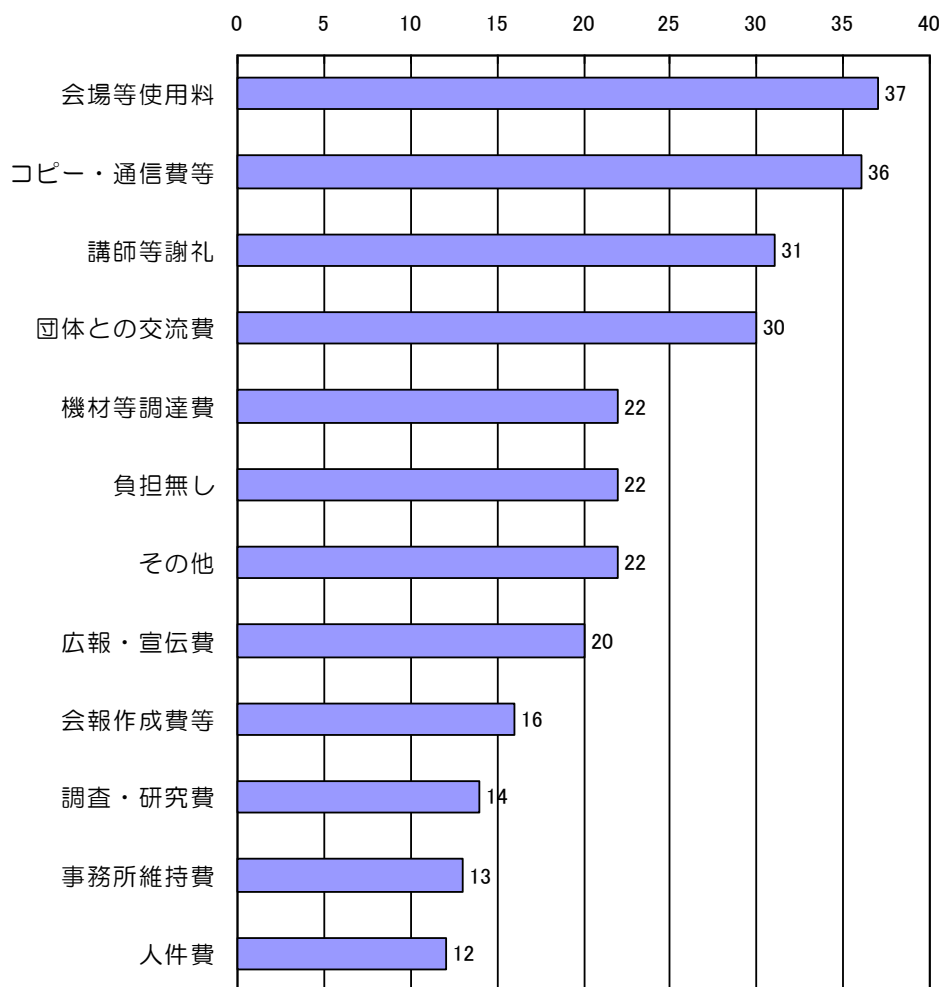
(2) あなたの団体の平成21年(または平成21年度)の収入の割合はどのようになっていますか。最も多いものから順に、あてはまるものを選び、その番号を回答欄に記入してください。



| 項目     | 1番目 | 2番目 | 3番目 |
|--------|-----|-----|-----|
| 会費     | 60  | 24  | 16  |
| 補助(市)  | 16  | 15  | 6   |
| 補助(県)  | 2   | 1   | 1   |
| 補助(国)  | 1   | 2   | 1   |
| 補助(民間) | 5   | 9   | 6   |
| 寄付(個人) | 9   | 11  | 13  |
| 寄付(企業) | 3   | 2   | 1   |
| 委託(市)  | 9   | 5   | 0   |
| 委託(県)  | 1   | 0   | 1   |
| 委託(国)  | 2   | 1   | 1   |
| 収益事業   | 11  | 11  | 3   |
| 借入金    | 3   | 1   | 0   |
| その他    | 7   | 10  | 5   |

### (3) 経済的負担

(3) 活動していく中で経済的負担になっていることは何ですか。(三つ以内に○をしてください)



年間の活動費が30万円未満の団体が、回答した団体の60.7%に上り、その資金は会費、市の補助、個人の寄付や持ち出しに頼っているところが多く、事業を行って収入を得ている団体は依然少ない状況です。

活動を継続していく上で、活動資金の確保が重要となっており、特に、会場等使用料、経常的に必要となるコピー代・通信費等の雑費、講座開催時などの講師謝礼の経済的負担が高くなっています。

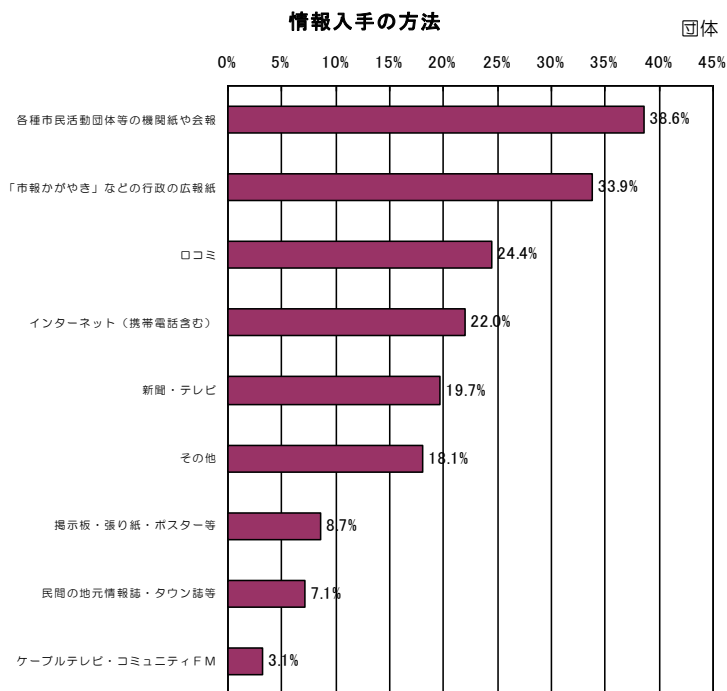
| 項目         | 回答数 |
|------------|-----|
| 会場等使用料     | 37  |
| コピー・通信費等雑費 | 36  |
| 講師等謝礼      | 31  |
| 団体との交流費    | 30  |
| 機材等調達費     | 22  |
| 負担無し       | 22  |
| その他        | 22  |
| 広報・宣伝費     | 20  |
| 会報作成費等     | 16  |
| 調査・研究費     | 14  |
| 事務所維持費     | 13  |
| 人件費        | 12  |

### 3. 情報の入手と提供

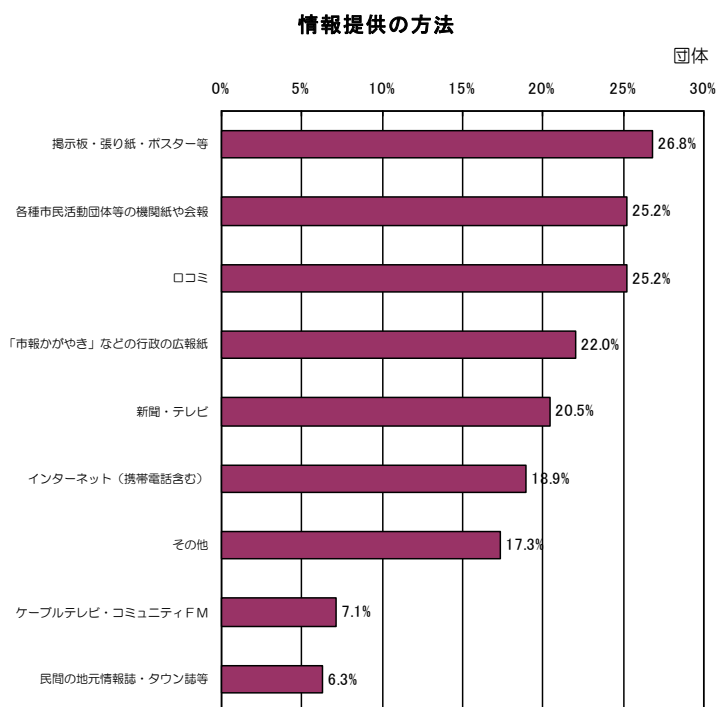
#### (1) 情報入手・提供方法

Q3 あなたの団体の情報の入手と提供についておたずねします。

(1) 活動に必要な情報を現在どのような形で入手あるいは提供していますか。  
(それぞれ主なものを三つまで)



| 項目               | 入手 |
|------------------|----|
| 各種市民活動団体等の機関紙や会報 | 49 |
| 「市報」などの行政の広報誌    | 43 |
| ロコミ              | 31 |
| インターネット(携帯電話含む)  | 28 |
| 新聞・テレビ           | 25 |
| その他              | 23 |
| 掲示板・張り紙・ポスター等    | 11 |
| 民間の地元情報誌・タウン誌等   | 9  |
| ケーブルテレビ・コミュニティFM | 4  |



| 項目               | 提供 |
|------------------|----|
| 掲示板・張り紙・ポスター等    | 34 |
| 各種市民活動団体等の機関紙や会報 | 32 |
| ロコミ              | 32 |
| 「市報」などの行政の広報誌    | 28 |
| 新聞・テレビ           | 26 |
| インターネット(携帯電話含む)  | 24 |
| その他              | 22 |
| ケーブルテレビ・コミュニティFM | 9  |
| 民間の地元情報誌・タウン誌等   | 8  |

※母数127 【132(総回答数)－5(無回答数)】

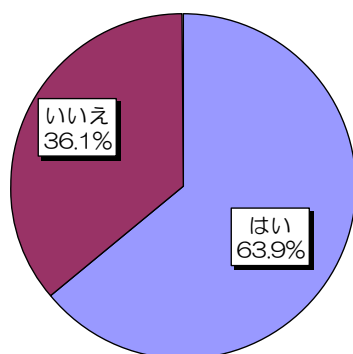
## (2) 情報入手満足度

## (3) 情報提供満足度

(2) あなたの団体に必要な情報を十分に入手することができますか。

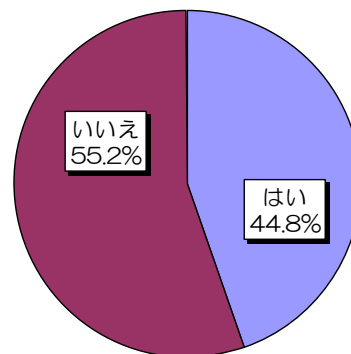
(3) あなたの団体の活動の内容等を十分に提供できていますか。

(2) 情報入手満足度



| 項目  | 回答数 | %    |
|-----|-----|------|
| はい  | 78  | 63.9 |
| いいえ | 44  | 36.1 |

(3) 情報提供満足度



| 項目  | 回答数 | %    |
|-----|-----|------|
| はい  | 56  | 44.8 |
| いいえ | 69  | 55.2 |

※母数 131 【132 (総回答数) - 10 (無回答数)】 ※母数 125 【132 (総回答数) - 7 (無回答数)】

## (4) 情報入手・提供についての意見

(4) 情報の入手と提供についてご意見等ありましたらご自由にお書きください。

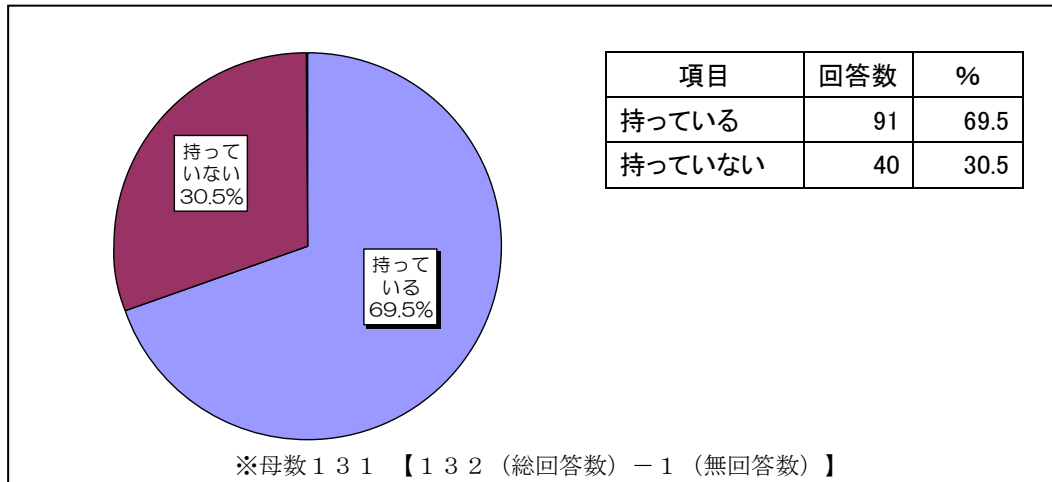
|    |                                                                                       |
|----|---------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | 市民活動団体の活動(予告や報告等)をホームページに紹介したらよい。                                                     |
| 2  | 情報化時代なので入手は容易です。逆に必要な情報の仕分けが大変で資料ばかりが増えます。市ホームページと個人をつなぐシステムの整備を望みます。                 |
| 3  | 会の行事情報を広く提供すると対応できない恐れがあるため、口コミとチラシで提供し、結果を新聞報道することが有効と思われる。                          |
| 4  | 市報等により情報を提供し口コミを行う。                                                                   |
| 5  | 市民活動センターや社会福祉協議会から情報を入手している。                                                          |
| 6  | インターネットでの発信も必要と思いますので、行政に音頭を取っていただけたらと思います。                                           |
| 7  | 情報の提供については、福祉員、民生委員、その他の地域住民を通じて口コミでおこないたい。                                           |
| 8  | 行政の支援を受けて市民へのPRができればと思う。                                                              |
| 9  | 個人情報・プライバシーを伴うことは入手も提供も十分に出来なくなってきている。                                                |
| 10 | 団体同士の交流会、名刺交換会等の企画があると共通点のある団体間のつながりができ、情報交換の円滑化が図れると思う。                              |
| 11 | 新聞社、テレビ局に事業開催をお知らせしていきます。ポスティングもしています。                                                |
| 12 | 情報の入手も発信もインターネット等を使用しないので全く下手。市民活動センターに行った時、掲示物を読んだり、係の人と話すことで入手しています。又、社協からも入手しています。 |

#### 4. 他団体や地域との連携

##### (1) 他団体との連携

Q4 他団体や地域との連携についておたずねします。

(1) あなたの団体は、他の市民活動団体と何らかのつながりを持っていますか。



(「1 持っている」とお答えの方のみ)

(1) -1-A どのような市民活動団体とつながりを持っていますか。

|                     |    |
|---------------------|----|
| 市内の同様の分野の活動を行っている団体 | 63 |
| 市外の同様の分野の活動を行っている団体 | 48 |
| 市内の違う分野の活動を行っている団体  | 37 |
| 市外の違う分野の活動を行っている団体  | 13 |
| その他                 | 6  |

(複数回答)

(1) -1-I 具体的にどのように連携されていますか。

|   |          |    |                |
|---|----------|----|----------------|
| 1 | 情報交換・共有  | 7  | 合同の勉強会         |
| 2 | 会合、交流会   | 8  | 役員としての連携       |
| 3 | メール等     | 9  | 電話連絡           |
| 4 | イベントへの参加 | 10 | 各団体情報誌         |
| 5 | 行事等の相互協力 | 11 | 共催、名義後援、委員会活動等 |
| 6 | 研究会の開催   | 12 | 人的ネットワーク       |

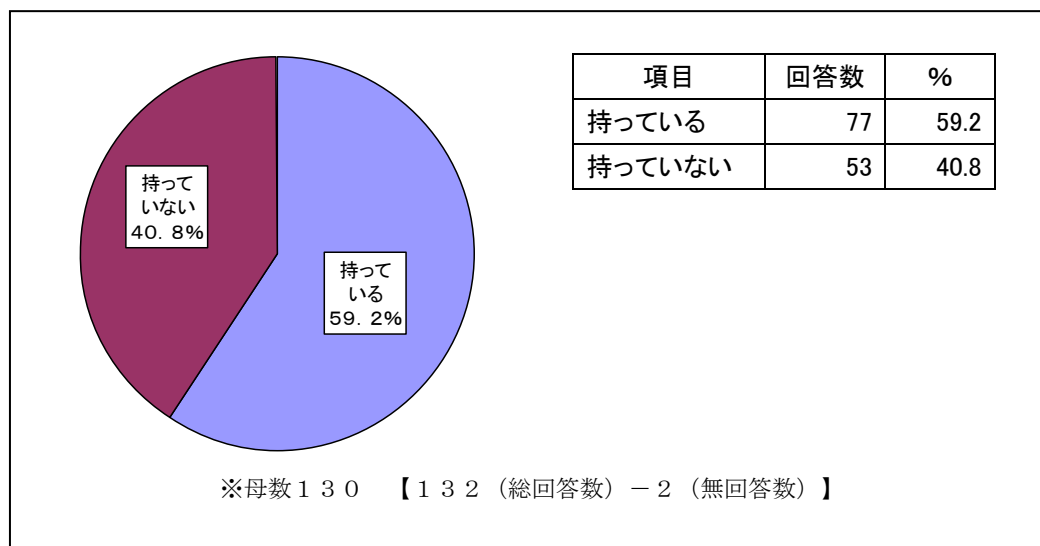
(「2 持っていない」とお答えの方のみ)

(1) -2 他団体とのつながりを持たない理由をお答えください

|   |                                        |
|---|----------------------------------------|
| 1 | 現在は、独自の方法で活動している。                      |
| 2 | 関連している他団体の存在が分からない。つながりを求めるまでの余裕がまだない。 |
| 3 | 他の団体とは団体の種類が異なるため。                     |
| 4 | 持ちたいと思う。ネットワーク化は課題だと思う。                |
| 5 | 特に理由はない。必要ないから。                        |

## (2) 地元地域との連携

(2) あなたの団体は、地元地域（自治会等）と何らかのつながりを持っていますか。



(「1 持っている」とお答えの方のみ)

(2)－1 どのようなつながりを持っていますか（すべて）

|                           |    |        |
|---------------------------|----|--------|
| 会員のほとんどが一定範囲の地域住民である      | 50 | (複数回答) |
| 活動の対象が地元地域・住民である          | 46 |        |
| 地元地域及び近隣の地域と連携をとることがある    | 35 |        |
| 地元地域の行事によく参加している          | 31 |        |
| イベントを行う時など地元地域に手伝ってもらっている | 29 |        |
| その他                       | 6  |        |



団体間の連携としては、市内外の同じ分野の活動を行っている団体との連携が多く、市内他分野の団体とも連携を行っており、個人のつながりも含んだ多様な形態がうかがえます。近年は、設立間もない団体も増加しているため、他団体との連携は重要となっています。

地元地域との連携については、多くの団体が活動をする上で、一定範囲の地域住民を会員としており、地元地域住民を対象とした活動を通じて連携しています。また、活動分野の多様化や活動エリアの広がりにより、地元地域外での活動も増加しています。

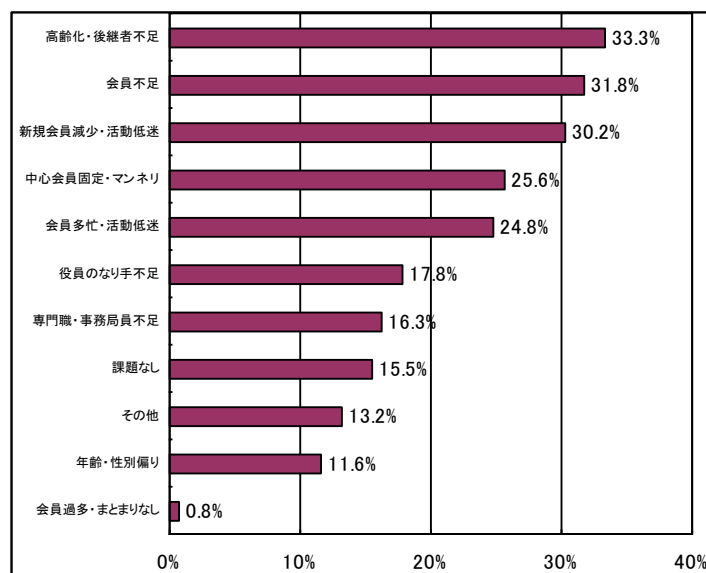
## 5. 活動における課題等

### (1) 団体活動の課題

Q5 あなたの団体の活動における課題等についておたずねします。

(1) あなたの団体の活動をしていく上でどのような課題がありますか。

#### ◎人材面について

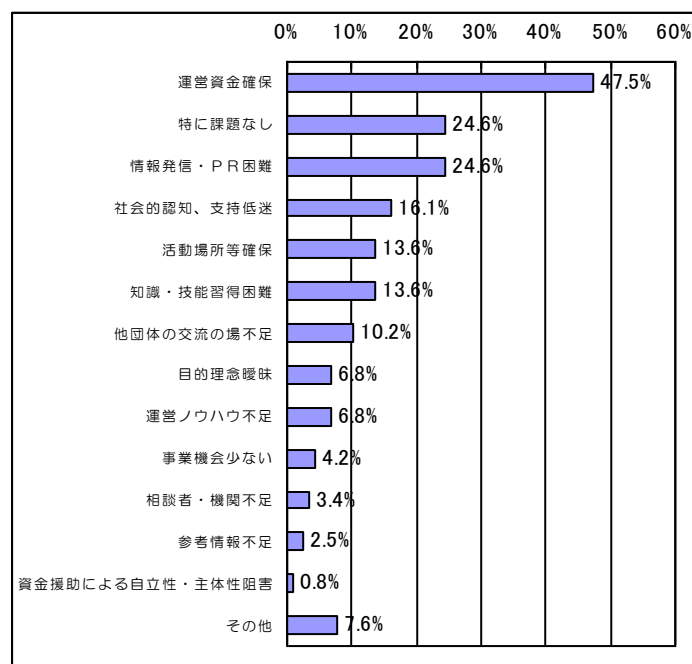


(複数回答)

| 項目          | 回答数 | %     |
|-------------|-----|-------|
| 高齢化・後継者不足   | 43  | 33.3% |
| 会員不足        | 41  | 31.8% |
| 新規会員減少・活動低迷 | 39  | 30.2% |
| 中心会員固定・マンネリ | 33  | 25.6% |
| 会員多忙・活動低迷   | 32  | 24.8% |
| 役員のなり手不足    | 23  | 17.8% |
| 専門職・事務局員不足  | 21  | 16.3% |
| 課題なし        | 20  | 15.5% |
| その他         | 17  | 13.2% |
| 年齢・性別偏り     | 15  | 11.6% |
| 会員過多・まとまりなし | 1   | 0.8%  |

※母数 129 【132(総回答数)-3(無回答数)】

#### ◎運営面について



(複数回答)

| 項目               | 回答数 | %     |
|------------------|-----|-------|
| 運営資金確保           | 56  | 47.5% |
| 特に課題なし           | 29  | 24.6% |
| 情報発信・PR困難        | 29  | 24.6% |
| 社会的認知・支持低迷       | 19  | 16.1% |
| 活動場所等確保          | 16  | 13.6% |
| 知識・技能習得困難        | 16  | 13.6% |
| 他団体の交流の場不足       | 12  | 10.2% |
| 目的理念曖昧           | 8   | 6.8%  |
| 運営ノウハウ不足         | 8   | 6.8%  |
| 事業機会少ない          | 5   | 4.2%  |
| 相談者・機関不足         | 4   | 3.4%  |
| 参考情報不足           | 3   | 2.5%  |
| 資金援助による自立性・主体性阻害 | 1   | 0.8%  |
| その他              | 9   | 7.6%  |

※母数 118 【132(総回答数)-14(無回答数)】

## (2) 問題解消についての意見

(2) あなたの団体のかかえておられる問題に対して、どのように解消してきたいとお考えですか。

|    |                                                                                                                         |
|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | 会員の目的意識を持たせるため、勉強又は調査の機会を作る。                                                                                            |
| 2  | 外部に向けた活動情報の発信に力を入れていく。                                                                                                  |
| 3  | 大学側と協議機関を設置し、会員の声を大学側へ伝え、活動日報、時間の確保を目指しています。                                                                            |
| 4  | 会員の多忙については、役割分担を明確にし、1人の負担を少なくする。運営資金の確保については、多方面に助成金の申請を出してみる。                                                         |
| 5  | 地域づくりは点から線へ、線から面への活動が望まれるが、地区を越えると、理解を得るまでに時間がかかり過ぎる。行政との協働によるリーダー養成を行なっていきたい。                                          |
| 6  | 役員が高齢化傾向にあるため団塊の世代の方々に会に加入していただく努力をする。                                                                                  |
| 7  | 新規会員を定期的に募集し刺激を与えつつ、具体的な活動内容や活動目標を提示していく。                                                                               |
| 8  | 若い会員の増加を希望している。会員活動(催し)を活発にして、活動を知ってもらい、入会につなげたいと思っている。                                                                 |
| 9  | サポート養成講座や講演会を通して、団体に関わって下さるボランティアスタッフを育成し、広報活動によって支援会員を増やす。                                                             |
| 10 | 皆仕事を持ち、時間をやりくりして参加してくれるので、各自に負担をかけてはいけなと苦慮している。交通費を支給したり、食事をしたり、楽しんで活動できるよう心がけている。                                      |
| 11 | 情報発信、PRの努力、強化、あらゆる方面へ訪問し情報の直接発信                                                                                         |
| 12 | 会員の研修会、交流会を重ね、技術面と知識を高め会員が自信と誇りをもって、活動を推進できるように、また、コミュニケーションを深めることにより、元気で楽しく活動できるようにしています。私達の笑顔が地球の人の笑顔につながるよう努めたい。     |
| 13 | 会員は人間関係を円滑にするコミュニケーションスキルの技術を学び日常に実践する学習をしているので、その技能を外部に向けて活動する。                                                        |
| 14 | 収入安定の策を立て、事務局を固定化し、団体についての理解を得るためのPR法を考え、事業内容を拡大していきたい。                                                                 |
| 15 | 道具が増えるので、新たな保管場所の確保を考えている。                                                                                              |
| 16 | 高齢の聴覚障害者の方々の方々の育ってきた環境を考え、老後は同じ障害を持つ方の親睦の場として情報交換し、健やかに老いていってほしいので、アレコレ難しい講演とかは特に計画しない。その方が集まりやすい面があって今の所うまくいっていると思います。 |
| 17 | 携帯のメールを活用し、リアルタイムで情報を発信しながらフレキシブルな集会をしています。以前の市民団体活動のような形態は、今後は難しいと思います。                                                |
| 18 | 当会は自然に関心のある一般市民を対照としているが、高齢者が多く自然と高齢者による事業展開が中心となる。しかし定年退職者の雇用の場として、各人の人生経験が豊富であり、これらを生かして事業展開を目指している。                  |
| 19 | 新しく発足した団体なので、質のよい内容のある活動をして実績を作り、一般の方々に認めてもらい、また少しでも協賛して、共に活動してもらえ会員を増やしていきたいと思う。                                       |

## 6. 市民活動団体と市の関係

### (1) 団体と市との望ましい関係

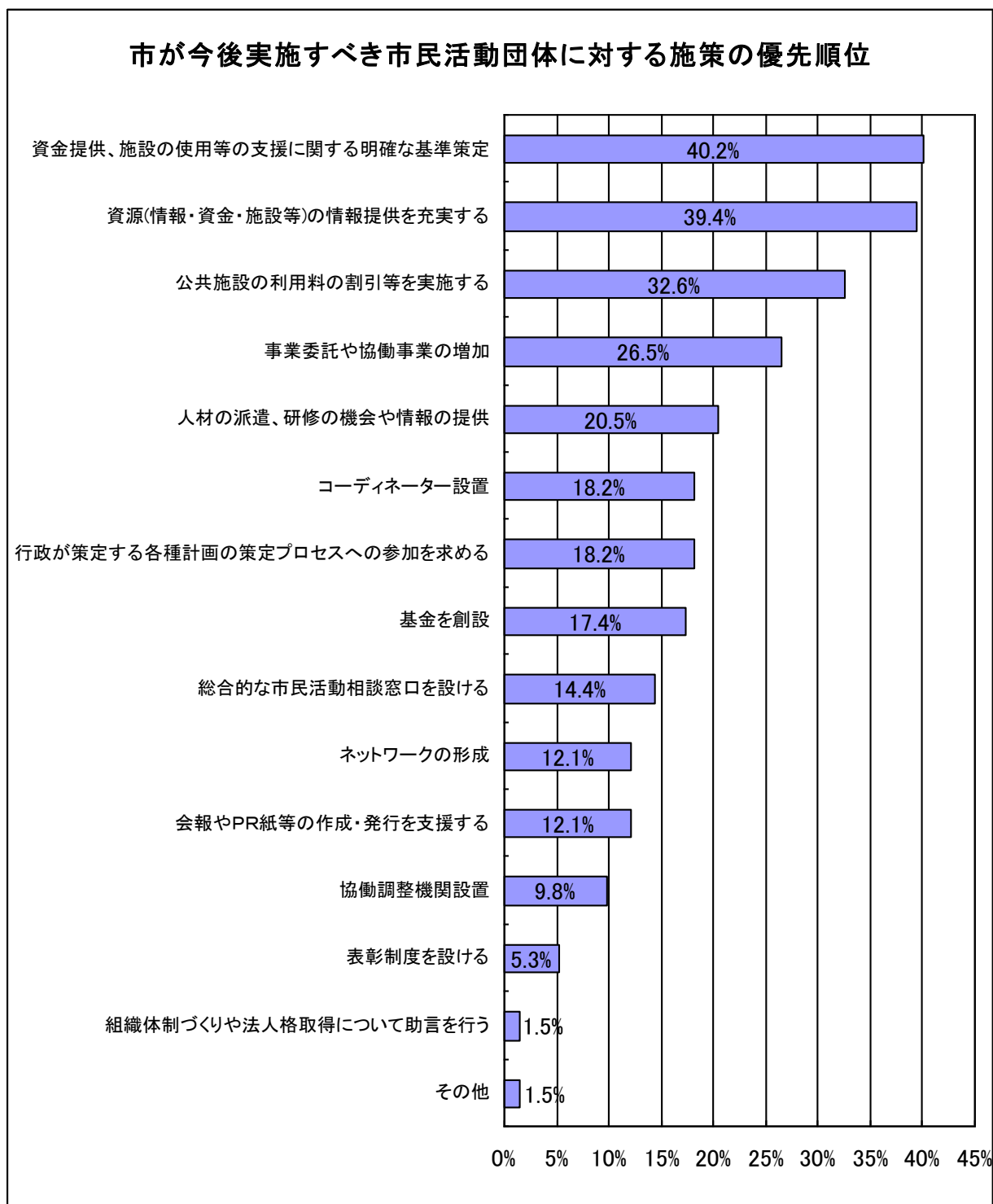
Q6 市民活動団体と市との望ましい関係についておたずねします。

(1) 次のような考え方に対して、あなたの団体に考え方はどれに一番近いですか。それぞれ「そう思う」は1、「そう思わない」は2、「わからない」は3に○をつけてください。

| 記<br>号 | 考 え 方                                                                | 回答割合(%)  |                    |                   | 回答数      |                    |                   | 計   |
|--------|----------------------------------------------------------------------|----------|--------------------|-------------------|----------|--------------------|-------------------|-----|
|        |                                                                      | そう<br>思う | そう<br>思<br>わ<br>ない | わ<br>か<br>ら<br>ない | そう<br>思う | そう<br>思<br>わ<br>ない | わ<br>か<br>ら<br>ない |     |
| ア      | 公益性の高い市民活動を支援すべきであり、私益優先の団体への支援は行なう必要はない。                            | 73.6%    | 15.5%              | 10.9%             | 95       | 20                 | 14                | 129 |
| イ      | 支援は一部の団体へ手厚く行うのではなく、あらゆる団体に広く浅く行うべきである。                              | 61.7%    | 20.3%              | 18.0%             | 79       | 26                 | 23                | 128 |
| ウ      | 市民活動が活発になるためには、人、物、資金などによる行政の市民活動団体への強力なバックアップが必要である。                | 66.9%    | 19.7%              | 13.4%             | 85       | 25                 | 17                | 127 |
| エ      | 市民活動が育つには団体の自主性の確保が重要であり、行政の支援は節度を持って行うとともに、団体の運営に介入することは慎まなければならない。 | 68.0%    | 18.8%              | 13.3%             | 87       | 24                 | 17                | 128 |
| オ      | 公共サービスの提供は行政が責任を持つべきであり、市民活動団体による公共サービス提供活動は総合視点から行政がコントロールする必要がある。  | 25.8%    | 41.9%              | 32.3%             | 32       | 52                 | 40                | 124 |
| カ      | 行政と市民活動が競合する場合、役割分担や棲み分けを行政と市民活動団体が対等な立場で調整すべきである。                   | 73.8%    | 5.6%               | 20.6%             | 93       | 7                  | 26                | 126 |
| キ      | 行政は市民活動団体と協働する場合や、市民活動団体に支援等する場合、何故その市民活動団体なのか理由を明確に説明する必要がある。       | 78.7%    | 6.3%               | 15.0%             | 100      | 8                  | 19                | 127 |
| ク      | 市民活動団体が行政から支援を受けている場合、市民活動団体は市民に対して、活動内容等を公表する責務を負う必要がある。            | 74.4%    | 7.8%               | 17.8%             | 96       | 10                 | 23                | 129 |
| ケ      | 市民活動団体への支援が社会状況などの変化に応じて適切に行われているか定期的に評価し、支援の透明性を確保する必要がある。          | 76.4%    | 5.5%               | 18.1%             | 97       | 7                  | 23                | 127 |
| コ      | 市民活動団体は、本来、自主的・自律的な活動であるべきなので、行政が支援すべきでない。                           | 5.5%     | 78.0%              | 16.5%             | 7        | 99                 | 21                | 127 |

## (2) 市が実施すべき団体に対する施策

(2) 市が今後実施すべき市民活動団体に対する施策について、次もうちから優先順位が高いと思われるものを3つ選んでください。



※母数 132

## 7. 課題・要望等

### (1) 団体が困っていること

Q7 あなたの団体のお困りのこと、市に期待することやご提案についてご自由にお書きください。

(1) 現在、あなたの団体が困っていることをお書きください。

|    |                                                                                                        |
|----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | 会員の高齢化及び新規会員・後継者不足。                                                                                    |
| 2  | 会の運営・活動資金の確保。                                                                                          |
| 3  | 活動場所や事務所等の確保。                                                                                          |
| 4  | 公共施設の使用料が高額。                                                                                           |
| 5  | 事務局が定まらない→PR出来ない→理解を得がたい→事業を拡大できない→人材が揃わない→収入が定まらず運営の見通しが立てられない。                                       |
| 6  | 会員が忙しくて、学習したことを会として外部に啓発することがなかなかできないでいます。                                                             |
| 7  | PRしようにも行政の媒体が使えない。行政の市民活動を積極的にPRできる場所の提供が必要。                                                           |
| 8  | PR不足。                                                                                                  |
| 9  | イベントの企画。                                                                                               |
| 10 | 市行政と協働するとか支援を受けたいと思っても・・・どんな支援や協力をしてもらえるのかわからない。                                                       |
| 11 | 今後、将来的に自立していけるように、活動資金の助成や人材の確保等について相談できる場が欲しいと思います。                                                   |
| 12 | 事業をする際の助成金の申請が、あまりにも役所的で複雑。                                                                            |
| 13 | 施設等利用の場合の駐車場使用料について割引等してほしい。                                                                           |
| 14 | 個人用の楽器を借りても謝金を出すことが出来ない。楽器店であれば良いと云われていますが、楽器店の数にも限度があり、かなり個人より高くなります。                                 |
| 15 | 花壇の手入れをしているため、下関市美化運動をすすめる為には花壇の近くに水道栓が必要。                                                             |
| 16 | 視覚障害者の団体としては、エスコートゾーンの設置場所を増やして欲しい。                                                                    |
| 17 | 施設のバリアフリーの考慮を。                                                                                         |
| 18 | 環境保全に係る経費が不足している。海浜植物の保護が急がれる。                                                                         |
| 19 | 公共施設の暖房ストップの時期が早い。閉館時間を22時にして頂きたい。                                                                     |
| 20 | 行政の財源の削減等を提案しても、既成概念が強すぎて、積極性に欠けている。                                                                   |
| 21 | 市民活動センターが単なる施設管理になっていて利用がしづらい。<br>→硬直・非効率・低い・情報発信と提供。<br>センター職員の意識とホスピタリティが低い。<br>形だけでサービス内容、質に関して無頓着。 |
| 22 | 市からは十分なサービスの提供を受けているので特にはありません。                                                                        |

## (2) 市に期待することや提案

(2) あなたの団体が市に期待することやご提案があればお書きください。

|    |                                                                                                                  |
|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | 活動場所が増えること。                                                                                                      |
| 2  | 公共施設の使用についての調査・検討をされ市民活動団体が使用しやすい環境を整えてもらいたい。                                                                    |
| 3  | 空いている公共施設を、もっと市民が気軽に活用出来る様に。商業目的でも税収になるのなら、かまわないと思います。                                                           |
| 4  | 活動施設を利用する際の手続きを簡単に出来ること。利用申請を柔軟に許可してもらえること。                                                                      |
| 5  | 公共施設の使用料免除又は一部免除。                                                                                                |
| 6  | 現在の公共施設使用を継続させて欲しい。                                                                                              |
| 7  | ボランティア団体に優先的に公共施設の使用を認めて欲しい。                                                                                     |
| 8  | 駐車場をお願い出来たらと思います。(しものせき市民活動センター)                                                                                 |
| 9  | 広報費を援助して欲しい→公民館・図書館設置の固定化など                                                                                      |
| 10 | 活動資金の助成が欲しい。民間人の活動は、心意気・情熱だけでは難しく、助成金がないと継続は困難。                                                                  |
| 11 | 活動助成の継続及び運営資金(人件費・維持管理費等)を対象にして欲しい。                                                                              |
| 12 | 情報の提供と会員の紹介をして下さい。                                                                                               |
| 13 | 協働の街づくりの重要性、必要性を機会ある毎に市民に伝え、理解度を高める。市民活動は「スキナ人がやっている」のではない。皆がよりよく暮らし生きるためのものだということ。                              |
| 14 | 市報などに事業所のことを情報提供して欲しい。便りなどを各自治会に配布して欲しい。                                                                         |
| 15 | 今、市、行政が協働していること、民間団体と連携していることなど情報が欲しい。(市民団体へ期待していることも知りたい)                                                       |
| 16 | 学校に体験学習の授業に行った時の様子を、市報等にアピールしてほしい。次の年に活動がしやすいと思います。                                                              |
| 17 | 新しい情報(知識に関することを含む)をいち早く流してほしい。                                                                                   |
| 18 | 何をしてくれるのかさえ、わからない。                                                                                               |
| 19 | 事業によって子ども課・市教委・ハローワーク等、どうみても管轄がバラバラな先駆的な事業の場合協働調整機関があると良い。                                                       |
| 20 | 市民の需要を正しくつかみ、市民活動団体などの実際をもっとお知りいただき、適材適所に力を使っていただけ仕組みづくりをさらに進めていただきたい。(一般論)                                      |
| 21 | 市民活動が活性化する為の仕掛けを考えてほしい。                                                                                          |
| 22 | NPO 外各種団体の窓口が必要。                                                                                                 |
| 23 | 「深坂自然の森」で作業を4年間していますが、作業している経験から、「深坂自然の森」を市民の憩いの場にするための良い考えがみえてきます。市有地ですので自由に出来ないことは分かっていますが、ある程度、市は任せて欲しいと思います。 |
| 24 | 障害がある子ども、成人を介護する当事者家族の団体なので、市行政の各種計画・策定プロセスについて意見等出す機会を与えて欲しい。                                                   |

|    |                                                                                                          |
|----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 25 | 活動内容や今後の展望について公聴会等開いて欲しいです。文書では伝えにくい面が多く、活動内容を直に体験して理解して欲しいです。その上でご指導、ご支援いただけるとなおります。                    |
| 26 | ボランティア活動の相談に対して、行政はもっと耳を傾けて欲しい。                                                                          |
| 27 | 団体がスキルアップしていく取り組みなどを望みます。                                                                                |
| 28 | 地元の企業と行政が定期的に学習会を開催し、温室効果ガス(GHG)の削減、財政の削減等に真剣に取り組んでほしい。                                                  |
| 29 | 独自の理念で、モラル高く活動しているが、活動実績が顕著な団体には表彰などでスポットをあててほしい。(賞金はいらない)団体の活動が「まちのためになっている」という評価は市民活動のモチベーション UPにつながる。 |
| 30 | 市が保管している物で、重複する物があれば提供して欲しい。                                                                             |
| 31 | 今のところ、気をもたせる運動がうまくいきましたので、今後提案があればします。                                                                   |
| 32 | 本庁、各支所に青色回転灯車両が多く配備されています。公用車のため、ガソリン代等の問題は一切ないと思いますので、私たちの団体以上に活動して欲しいと思います。                            |
| 33 | 市の管理公社等機関を NPO 法人等に解放し、指定管理者制度の充実を実現して欲しい。                                                               |
| 34 | 場所の提供を、又福祉バスの協力等これからもお願いしたい。活動の範囲が広くなりネットワークの必要性も・・・                                                     |
| 35 | 会報をカラー化したいので、カラー印刷機を導入して欲しい(市民活動センター)                                                                    |
| 36 | 山の小動物と土地の奪い合いになっている。これらを市でもって一掃して欲しい。山の小動物も益獣であることをお忘れなく。その整合性が悩みの種。                                     |
| 37 | 団体活動のPR・助成をして欲しい。行政が行なう事業に有償で公演させて欲しい。地元事業に有償で参加させて欲しい。                                                  |
| 38 | 出来ないことはボランティアに丸投げとを感じるが多々ある。職員は高給をとり、私たちはボランティアかと思う。                                                     |
| 39 | 少人数の会員とボランティアで運営をしています、市のバックアップを今以上に頂けたらと会員一同思っています。                                                     |
| 40 | 委託事業を増やして欲しい。会場を提供して欲しい。                                                                                 |
| 41 | 「人づくり」に力を入れてもらいたい、勉強会が必要と思う。                                                                             |
| 42 | 角島は自然科学の面からも観光資源としても、下関市にとって、大きな財産である。そのためにも市の事業として、島内の自然環境調査を行なってもらいたい。                                 |
| 43 | 現在、子供達に今以上に文化や芸術にふれる機会を作って行こうという思いで活動しているので、市でもこのような活動に対しての受け皿を広げていただきたい。                                |
| 44 | 公民館の規約と NPO の活動規約との整合性                                                                                   |

### (3) その他

(3) その他ご自由にお書きください。

|    |                                                                                                                 |
|----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | 私達の運動を助けて欲しい。現在 NPO 法人化を考えています。そのためには、どうすれば良いか教えて欲しい。                                                           |
| 2  | せっかく下関の街づくりのために各々が活動しているので、交流の場と発展の場をもったら、もっともっと広がっていくのではないのでしょうか。                                              |
| 3  | 会場使用について、公益性の高い活動団体とそうでない団体との優先順位を考えるべきではないのでしょうか。                                                              |
| 4  | サポーターと称してお世話役をしている我々(全てボランティア)が満足できる会員数を確保したいので紹介をして頂きたい。                                                       |
| 5  | 人、物、資金以外のバックアップが重要だと考える。                                                                                        |
| 6  | シニア世代は、真面目・元気・社会に役立ちたい、そう考えている人が多いです。ボランティアに生きがいを感じています。そんな世代を生かした企画。(老後をどう生きるか・老人ホームは・・・などではない分野)が欲しいです。       |
| 7  | 地道に活動している人を、行政・公のしかるべき機関が、そっと褒めることが大切です。表彰状もよいが、活字で取り上げられると、新しい力がわく。山口新聞は本当に有難い存在です。(マズローの欲求の5階層モデル)            |
| 8  | ボランティア団体のホームページを一括で作り、書き込みも可能なものにして欲しい。(他都市にはあり)下関市内のボランティア活動はすぐわかるようになれば幸いです。                                  |
| 9  | 市民活動＝ボランティアでは、現代の不況の中では成り立っていきません。市民が動くのは無料(タダ)という考え方はやめて頂きたいと思います。有識者は有料というのもおかしい。                             |
| 10 | ボランティアだからと、無償で当たり前と思っておられる方がまだまだ多い。皆休みをとって活動していることを忘れて欲しくない。                                                    |
| 11 | 下関の市民活動＝文化活動と考えますが市がどのような「文化」をイメージしているのかわからない。                                                                  |
| 12 | 不登校、登校拒否を正しく知っていただくために、毎年講演会を開催していますが、教師が少なく残念です。先生方には是非、不登校の子どもの親に、団体を紹介して欲しい。                                 |
| 13 | 男女共同参画社会の実現には、市民へ継続的に学習会、講座を開いて、一人ひとりの意識をアップさせていくことが課題だと思います。単発で有名人を招いても市民の意識変革にまではならない。やはり地道な学習機会の提供が大事だと思います。 |
| 14 | 少しずつ若い力を生かしていきたいと考えています。ゆっくりと、暖かい目で見守っていただければと思います。                                                             |
| 15 | アジアに向けて環境エネルギーを通じた国際貢献が出来るように、まず、下関から技術を発信して欲しい。                                                                |
| 16 | 市が行なう諸環境アセスメントに関する諸施策を何も市外の業者にまかすことはなく、地元の諸団体による総合的なアセスメントの実施を希望する。                                             |
| 17 | 現状では協働には程遠いと思います。早期の改善、進展が必要と考えます。                                                                              |
| 18 | いろいろと書きましたが、これからも快適な市民活動を行なって行きますので、ご協力宜しくお願いいたします。                                                             |

